



Change & Go Beyond

2026年3月期 2Q決算説明会

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

2025年11月5日
日本精工株式会社

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年3月期 1H実績
2. 2026年3月期 通期予想
3. 中期経営計画2026
FY25における取り組み
(補足資料)

2026年3月期 1H実績

2023年8月に持分法適用関連会社化したステアリング事業につきまして、2025年9月1日に当社の連結子会社となりました。これに伴い、2026年3月期（FY25）よりステアリング事業を独立したセグメントとして開示しております。

また、2025年3月期（FY24）およびFY25 8月までの自動車事業に含まれていますステアリング事業に関する持分法投資損益を自動車事業からステアリング事業へ組み替えています。

2026年3月期（FY25）1H決算のポイント

FY25 1H実績

- ✓ 対前年増収増益。
- ✓ ステアリング事業の連結子会社化を9月1日に完了。
（連結子会社化による一過性の損益が発生）

		YoY	うち、ステアリング事業
売上高	4,123億円	+146億円	(+152億円)
営業利益	165億円	+68億円	(+38億円)
一過性除く※	164億円	+29億円	

FY25 通期予想

- ✓ ステアリング事業の連結子会社化影響および足元の事業環境を反映し、FY25通期予想を修正。
- ✓ 中間配当は17円/株、年間配当は34円/株から変更なし。

		対5月予想差	うち、ステアリング事業
売上高	8,850億円	+1,250億円	(+900億円)
営業利益	300億円	+80億円	(+35億円)
一過性除く※	376億円	+71億円	

※営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益を除いた利益を表示しています。

FY25 1H実績 サマリー

- ✓ ステアリング事業、為替影響除いてYoY増収。各利益項目YoY増益。
(ステアリング事業 YoY 売上高+152億円 / 営業利益+38億円)
- ✓ 5月時点の業績予想に対してもプラスで進捗。

	FY24	FY25			YoY		FY25 5月予想	
(億円)	1H	1Q	2Q	1H	増減額 (為替影響)	増減率	1H	通期
継続事業								
売上高	3,976	1,958	2,165	4,123	+146 (-89)	+3.7%	3,800	7,600
営業利益	97	48	117	165	+68	+69.7%	105	220
(率)	(2.4%)	(2.4%)	(5.4%)	(4.0%)	(-12)		(2.8%)	(2.9%)
一過性除く ※1	135	59	105	164	+29	+21.4%	125	305
(率)	(3.4%)	(3.0%)	(4.9%)	(4.0%)	(-23)		(3.3%)	(4.0%)
税引前利益	77	49	112	161	+83	+107.6%	90	190
当期利益	37	11	82	93	+56	+150.1%	35	70
(親会社所有者帰属)								
継続事業+ 非継続事業								
当期利益 ※2	20	11	82	93	+74	+373.3%	35	70
(親会社所有者帰属)								
換算レート 1USD	152.6	144.6	147.5	146.0	-6.6	-4.3%	135.0	135.0
" 1EUR	165.9	163.8	172.3	168.1	+2.1	+1.3%	155.0	155.0
" 1CNY	21.2	20.0	20.6	20.3	-0.9	-4.0%	19.0	19.0

※1 営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益を除いた利益を表示しています。

※2 FY25実績には非継続事業の対象はありません。

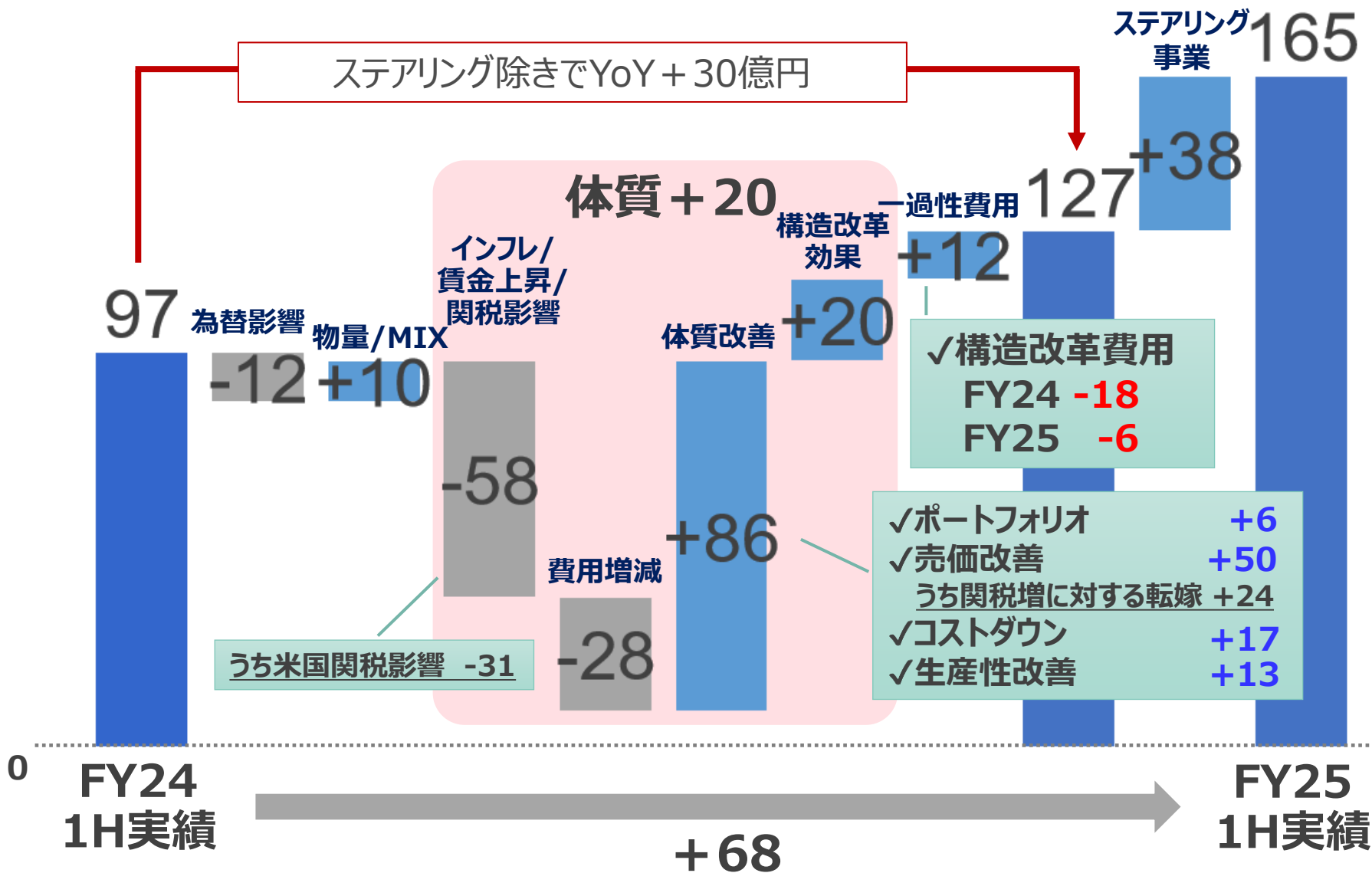
参考) FY25 1H実績 セグメント別

※ FY24およびFY25 8月までのステアリング事業の持分法による投資損益は自動車事業からステアリング事業へ組み替えて表示しています。

(億円)		FY24	FY25	YoY		FY25 5月予想	
		1H	1H	増減額	伸び率	1H	通期
売上高	合計	3,976	4,123	+146	+3.7%	3,800	7,600
除くステアリング事業合計		3,976	3,971	-6	-0.1%	3,800	7,600
	産業機械事業	1,805	1,808	+3	+0.2%	1,750	3,520
	自動車事業	1,991	2,012	+21	+1.0%	1,910	3,800
	その他	336	282	-54	-16.1%	270	545
	消去	-156	-132	+24	-	-130	-265
ステアリング事業		-	152	+152	-	-	-
営業利益	合計	97	165	+68	+69.7%	105	220
	(営業利益率)	(2.4%)	(4.0%)			(2.8%)	(2.9%)
除くステアリング事業合計		105	135	+30	+28.2%	105	220
		(2.6%)	(3.4%)			(2.8%)	(2.9%)
	産業機械事業	55	49	-6	-11.2%	55	135
		(3.0%)	(2.7%)			(3.1%)	(3.8%)
	自動車事業	64	89	+25	+38.4%	55	100
		(3.2%)	(4.4%)			(2.9%)	(2.6%)
	その他	9	3	-7	-71.4%	5	5
		(2.8%)	(1.0%)			(1.9%)	(0.9%)
	その他の営業損益/調整額	-24	-6	+18	-	-10	-20
ステアリング事業 ※		-8	30	+38	-	-	-
		-	(19.8%)			-	-

営業利益 増減内訳 FY24 1H実績 ⇒ FY25 1H実績

(億円)



FY25 1H実績 -産業機械事業-



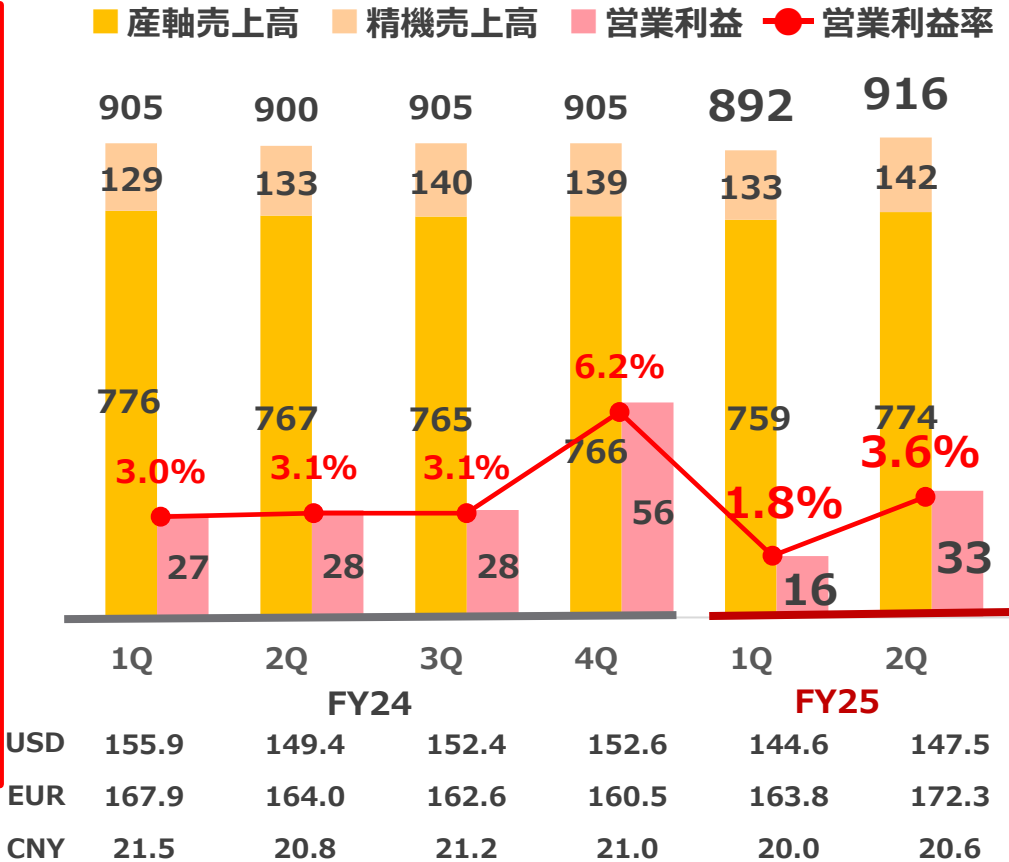
FY25 1H実績 除く為替影響で+2.7%の増収。回復ペースは緩やか。

- ・産機軸受：工作機械向けが中国で増加。
- ・精機製品：米州で半導体製造装置向けが増加。

一過性費用 **FY25 1Q 3億円 2Q 3億円**、FY24 1Q 計上なし、2Q 12億円、3Q 1億円、4Q 5億円
収益性の改善は道半ば。

(億円)

	1H実績		YoY	
	FY24	FY25	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	1,805	1,808	+3 (-45)	+0.2% (+2.7%)
産業機械軸受	1,543	1,533	-10	-0.7%
精機製品	262	275	+13	+5.0%
営業利益	55	49	-6	-11.2%
(率)	(3.0%)	(2.7%)		
一過性除く	67	55	-12	-18.1%
(率)	(3.7%)	(3.1%)		
換算レート1USD	152.6	146.0	-6.6	-4.3%
" 1EUR	165.9	168.1	+2.1	+1.3%
" 1CNY	21.2	20.3	-0.9	-4.0%



FY25 1H実績 -自動車事業-

FY25 1H YoY増収増益。除く為替影響で+3.2%の増収。

・欧州向け販売減少も、中国・米州向けの販売増加でYoY増収。

一過性費用 FY25 1Q 1億円(構造改革以外1億円)、2Q 0億円

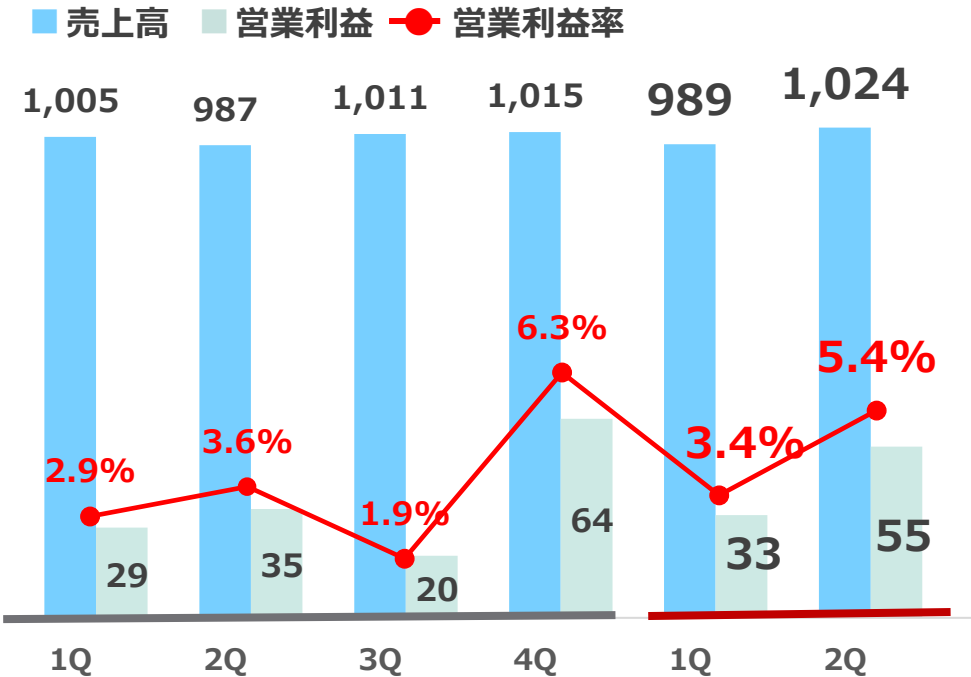
FY24 1Q 5億円、2Q 計上なし、3Q 25億円(構造改革以外10億円)、4Q 1億円

営業利益は、為替影響や関税コスト増に対し、物量効果と体質改善で増益。

※ FY24およびFY25 8月までのステアリング事業の持分法による投資損益は自動車事業からステアリング事業へ組み替えて表示しています。

(億円)

	1H実績		YoY	
	FY24	FY25	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	1,991	2,012	+21 (-43)	+1.0% (+3.2%)
営業利益	64	89	+25	+38.4%
(率)	(3.2%)	(4.4%)		
一過性除く	69	89	+20	+29.1%
(率)	(3.4%)	(4.4%)		
換算レート1USD	152.6	146.0	-6.6	-4.3%
" 1EUR	165.9	168.1	+2.1	+1.3%
" 1CNY	21.2	20.3	-0.9	-4.0%



グローバル自動車生産台数 (S&P)

百万台	FY24 1H	FY25 1H	増減率	USD	155.9	149.4	152.4	152.6	144.6	147.5
	44	45	+3.9%	EUR	167.9	164.0	162.6	160.5	163.8	172.3
				CNY	21.5	20.8	21.2	21.0	20.0	20.6

FY25 1H実績 –顧客地域別売上高（ステアリング事業除く）–

欧州：産機、自動車販売減少。**中国**：景気刺激策などを背景に増収。

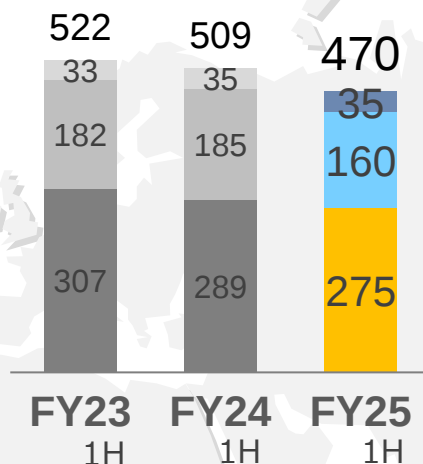
米州：堅調さを維持。

日本：産機、自動車横ばい。

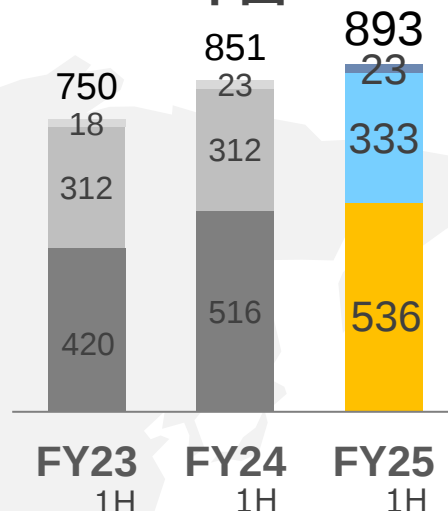
（億円）

■ 産業機械
■ 自動車
■ その他

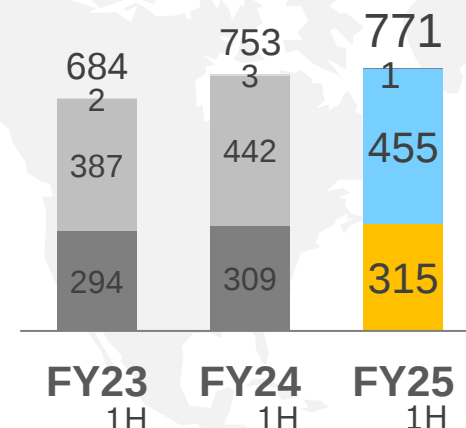
欧州



中国

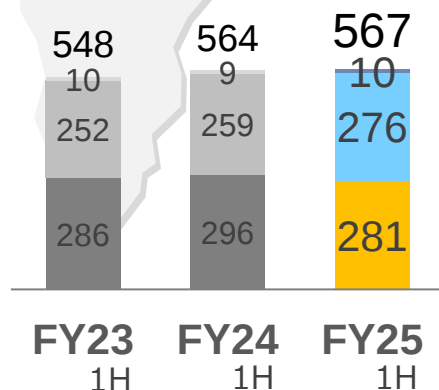


米州

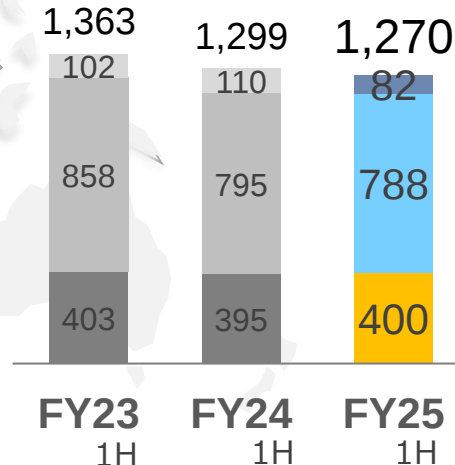


その他アジア

・インド自動車増収



日本



※各地域グラフから以下ステアリング事業の数値を除いています。

ステアリング事業

日本 43 米州 42 欧州 43
中国 17 その他アジア 6

換算レート	FY23 1H	FY24 1H	FY25 1H
1USD	141.0	152.6	146.0
1EUR	153.4	165.9	168.1
1CNY	19.8	21.2	20.3

2026年3月期 通期予想

FY25通期業績予想 事業環境認識

- ✓ 販売見通しは、概ね5月予想前提のとおり対前年横ばい。
- ✓ 米国関税政策の変更には迅速に対応。構造改革は計画に沿って進捗。
- ✓ レアアース・半導体のリスクは注視。

当初予想前提（5月）

2H見通し（11月）

事業環境

- ✓ 米国関税影響など不透明な経済環境の中、物量の回復は停滞することを前提。

- ✓ 産機は緩やかな回復。
- ✓ 2H自動車生産台数は1H横ばい。
- ✓ 為替レートは対予想円安で推移。

米国 関税政策

- ✓ FY25は120億円のコスト増を想定。
日本24%、メキシコ25%、中国100%～
相互関税90日間停止
- ✓ 関税政策によるコスト増加分は
すべて売価へ転嫁する方針。

- ✓ 1Q時点（7月）の影響見直し
90億円を110億円へ見直し。
・米232条 鉄鋼・アルミ関税影響を追加
・ステアリングの影響を追加
- ✓ 売価転嫁の方針を継続。

構造改革

- ✓ 欧州を中心に1,000名規模の削減。
FY24 600名完了 FY25 400名計画
- ✓ 効果の刈り取り +44億円 vs FY23
一過性費用計上 -65億円

- ✓ 概ね計画どおり。
- ✓ FY25 400名に対し進捗250名。
- ✓ 効果の刈り取り +20億円 2H 25億円
一過性費用の計上 -6億円 2H -59億円

2026年3月期（FY25）通期業績予想

- ✓ ステアリング事業の連結子会社化影響および為替レート前提の見直しを反映。
（2H為替レート前提：USD 140円、EUR 160円、CNY 20円）
- ✓ 米国関税影響は回収タイミングのズレを織り込み。
- ✓ レアアース・半導体不足のリスクは業績予想に含まず。

(億円)		FY25		対5月予想		FY24	YoY	
		5月予想	修正予想	増減額 (為替影響)	伸び率	実績	増減額 (為替影響)	伸び率
継続事業	売上高	7,600	8,850	+1,250 (+200)	+16.4%	7,967	+883 (-200)	+11.1%
	営業利益	220	300	+80	+36.4%	285	+15	+5.4%
	(率)	(2.9%)	(3.4%)	(+45)		(3.6%)	(-45)	
	一過性除く ※1	305	376	+71	+23.2%	364	+12	+3.3%
	(率)	(4.0%)	(4.2%)	(+45)		(4.6%)	(-45)	
	税引前利益	190	290	+100	+52.6%	251	+39	+15.5%
継続事業 + 非継続事業	当期利益 ※2 (親会社所有者帰属)	70	160	+90	+128.6%	106	+54	+50.3%
	換算レート1USD	135.0	143.0	+8.0	+5.9%	152.6	-9.6	-6.3%
	" 1EUR	155.0	164.0	+9.0	+5.8%	163.7	+0.3	+0.2%
	" 1CNY	19.0	20.2	+1.2	+6.3%	21.1	-0.9	-4.3%

※1 営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益を除いた利益を表示しています。

※2 FY25実績には非継続事業の対象はありません。

参考) FY25通期業績予想 セグメント別

(億円)		FY25		対5月予想		FY24	YoY	
		5月予想	修正予想	増減額	伸び率	実績	増減額	伸び率
売上高	合計	7,600	8,850	+1,250	+16.4%	7,967	+883	+11.1%
除くステアリング事業合計		7,600	7,950	+350	+4.6%	7,967	-17	-0.2%
	産業機械事業	3,520	3,670	+150	+4.3%	3,615	+55	+1.5%
	自動車事業	3,800	3,990	+190	+5.0%	4,017	-27	-0.7%
	その他	545	555	+10	+1.8%	630	-75	-11.9%
	消去	-265	-265	-	-	-295	+30	-
ステアリング事業 ※		-	900	+900	-	-	+900	-
営業利益	合計	220	300	+80	+36.4%	285	+15	+5.4%
	(営業利益率)	(2.9%)	(3.4%)			(3.6%)		
除くステアリング事業合計		220	265	+45	+20.5%	271	-6	-2.1%
		(2.9%)	(3.3%)			(3.4%)		
	産業機械事業	135	130	-5	-3.7%	139	-9	-6.8%
		(3.8%)	(3.5%)			(3.9%)		
	自動車事業	100	155	+55	+55.0%	147	+8	+5.4%
		(2.6%)	(3.9%)			(3.7%)		
	その他	5	0	-5	-100.3%	23	-23	-100.1%
		(0.9%)	(0.0%)			(3.6%)		
	その他の営業損益/調整額	-20	-20	-0	-	-38	+19	-
ステアリング事業 ※		-	35	+35	-	14	+21	+152.9%
		-	(3.9%)			-		

※修正予想に含まれているステアリング事業の売上高は2025年9月～2026年3月の7か月分です。
営業利益については、4月～8月の持分法投資損益を含めています。

FY25通期業績予想 -セグメント別-

MOTION & CONTROL™

NSK

主なセクター別需要動向(NSK予測)

産業機械事業

(億円)	FY25 5月予想	FY25 修正予想	通期YoY		FY25	
			増減額	増減率	1H実績	2H予想
売上高	3,520	3,670	+150	+4.3%	1,808	1,862
産業機械軸受	3,010	3,110	+100	+3.3%	1,533	1,577
精機製品	510	560	+50	+9.8%	275	285
営業利益	135	130	-5	-3.7%	49	81
(率)	(3.8%)	(3.5%)			(2.7%)	(4.4%)
一過性除く	155	148	-7	-4.3%	55	93
(率)	(4.4%)	(4.0%)			(3.1%)	(5.0%)

FY25 1H **FY25 2H**
vs FY24 2H vs FY25 1H

E&E	AM	↓	→
	家電	↑	↓
	自動車	↓	→
OEM	ロボット	→	→
	風力	↑	↓
	鉄道	→	→
	工作機械	↑	→
	半導体	↓	→

- ・需要環境の全体感は当初想定とおりもAM向けが下振れ、工作機械上振れなど濃淡あり。
- ・拡販と体質改善を進め、下期は対上期で増収増益を見込む。

自動車事業

(億円)	FY25 5月予想	FY25 修正予想	通期YoY		FY25	
			増減額	増減率	1H実績	2H予想
売上高	3,800	3,990	+190	+5.0%	2,012	1,978
営業利益	100	155	+55	+55.0%	89	66
(率)	(2.6%)	(3.9%)			(4.4%)	(3.4%)
一過性除く	133	190	+57	+42.9%	89	101
(率)	(3.5%)	(4.8%)			(4.4%)	(5.1%)

グローバル自動車生産台数
(百万台, NSK予測)

5月予想		修正予想	
FY25		FY25	
90		90	
1H	2H	1H	2H
44	46	45	45

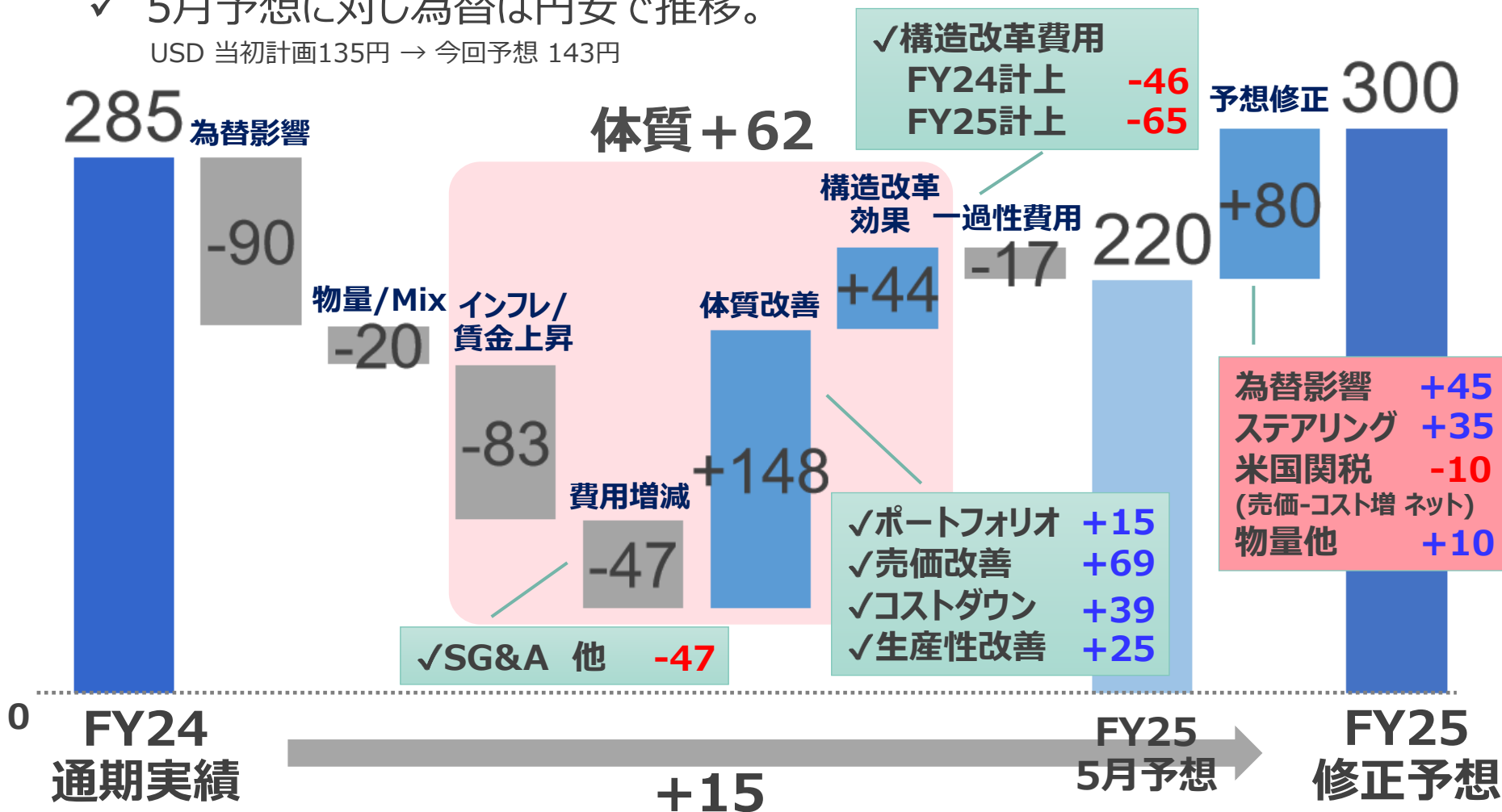
- ・通期予想は当初予想から上振れ。
- ・下期は構造改革費用の計上があるが実質増益を見込む。

営業利益 増減内訳 FY24通期実績 ⇒ FY25通期予想

(億円)

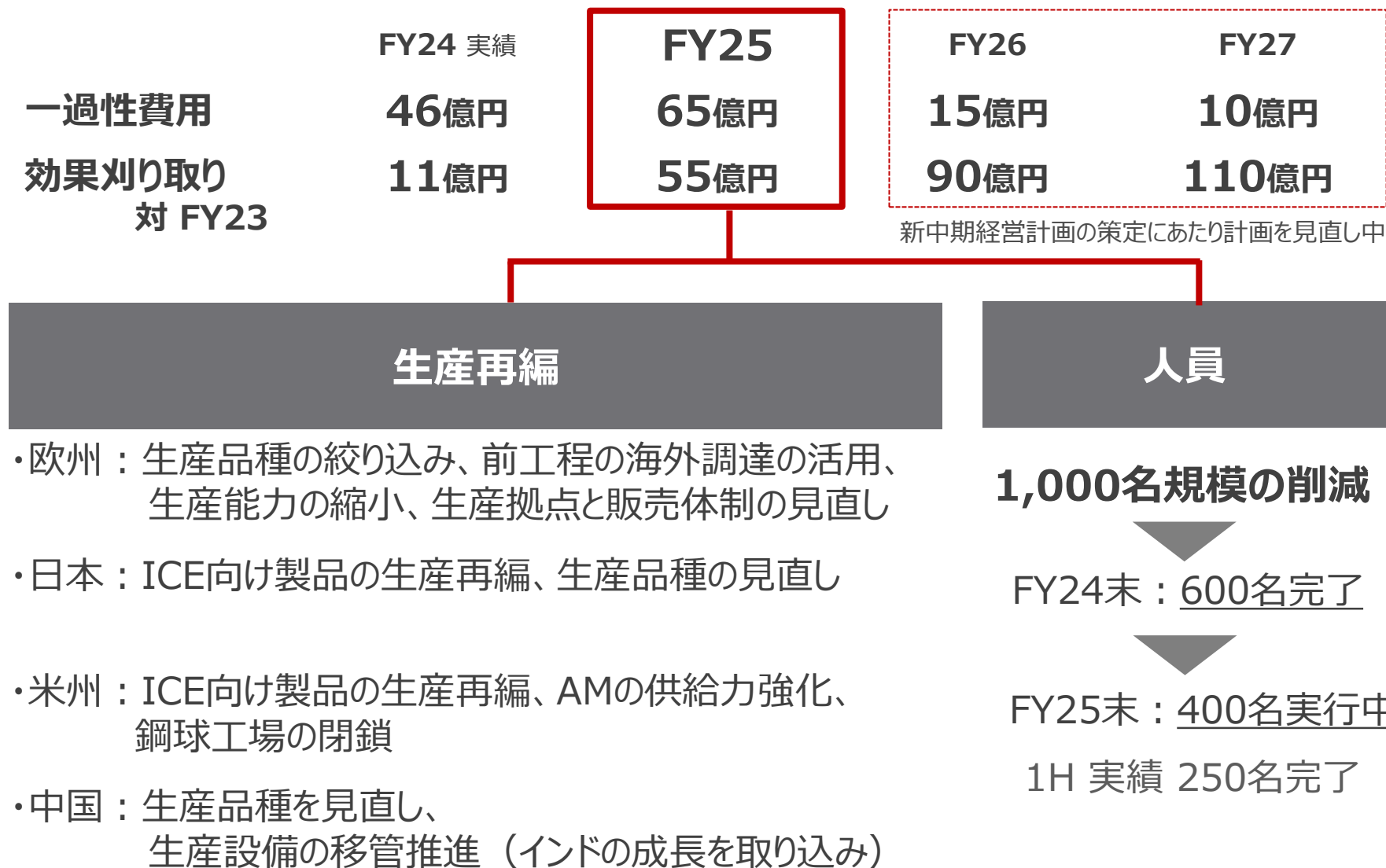
- ✓ 体質改善は概ね計画どおりの進捗。
- ✓ 米国関税影響に対する売価転嫁は概ね100%進捗。
ただしタイミングのズレを反映。
- ✓ 5月予想に対し為替は円安で推移。

USD 当初計画135円 → 今回予想 143円



中期経営計画2026 FY25における取り組み

✓ 欧州地域を中心とした構造改革を推進。収益性の底上げを目指す。



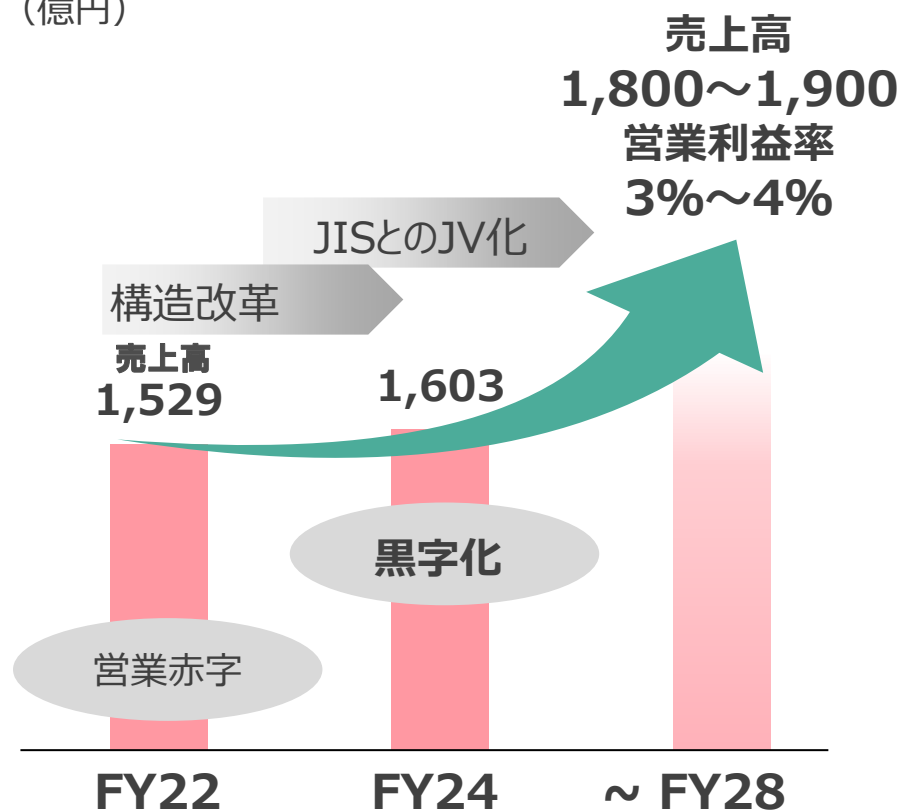
- ✓ 欧州を中心とした構造改革の推進と効果刈り取り
- ✓ 米国関税政策への対応を推進
- ✓ 拡販によるポートフォリオ変革
 - ・アフターマーケット、精密、CMS拡大への仕掛け
 - ・電動車向け製品および非日系顧客への拡販

**ROE改善に向けたさらなる取り組み
新たな中期経営計画を策定中
“2026年5月の公表を予定”**

ステアリング事業の連結子会社化について

- ✓ 構造改革、JISとの持分法適用会社化を経て収益性は改善。
- ✓ FY25に再び連結子会社化。引き続き事業の成長と収益の向上を目指すとともにストラテジック・パートナー探しを継続する方針。

(億円)



(億円)	FY25		
	1H実績	2H予想	通期予想
売上高	152	748	900
営業利益	※30	5	35

※FY25 1H実績に含まれる一時的な損益

・負ののれんの発生益	+73億円
・段階取得に係る差損	-47億円
・他一時的な損益	-12億円
合計	+14億円
上記除く営業利益	16億円

Bearings & Beyond の取り組み ①

✓ AIロボティクス企業 株式会社アールティへの戦略的投資を実施

先進的なAI・ロボット技術と、トライボロジーや解析技術、製品技術を融合し、
高付加価値なロボット製品・サービスを開発・提供



RT CORPORATION

製造業やサービス業が直面する人手不足といった社会課題をAI・ロボット技術で解決する
「人と共存するロボット社会の実現」に向け、本件を契機にロボット事業への取り組みを本格化させる

再生医療



AI・ロボット技術

フィジカルAI を基礎とする次世代AIロボットを
製造・供給する基盤の構築

バイオ

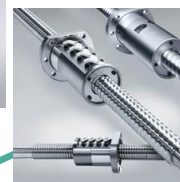


ユニット



全方向への滑らかな移動が可能な駆動ユニット
アクティブキャスターPalGo など

要素部品



サービスロボットの触覚伝達装置向け減速機
バイラテラルギア など

Bearings & Beyond の取り組み ②

✓ 電動ブレーキ用ボールねじの拡大



【FY25】

電動ブレーキ用を中心に

1,000 万本の受注に目途

(百万本)

60

50

40

30

20

10

0

2023年

2025年

2030年

市場シェア**50%超**

ボールねじ総需要
(NSK予想)

NSK実績物量・受注目標

今後、油圧からメカへの切り替えにより
需要のさらなる拡大を見込む

✓ インド成長市場での現地生産体制強化

工場建屋増築 (2026年8月完了を予定)



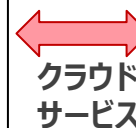
第一弾、中国から自動車ホイール軸受用の
設備を移管

✓ 状態監視とPLMビジネスへの取り組み

AIとエキスパートによる保全の最適化、省人化、製品
品質の改善により、プラントの予知保全を実現。

お客様の環境

- ✓ 生産設備の状態監視
- ✓ 付帯設備の状態監視
- ✓ 設備運用



クラウド
サービス

NSK

AIとエキスパートによる
モニタリング・改善提案



FY25後半、新規顧客の
立ち上げを計画

NSKの技術展望 -展示会出展のお知らせ-

✓ Japan Mobility Show 2025 (2025年10月30日～11月9日)



NSKを支えるコアテクノロジーを基に
「走る」「曲がる」「止まる」のソリューションを提案

✓ 国際ロボット展 iREX2025 (2025年12月3日～12月6日)



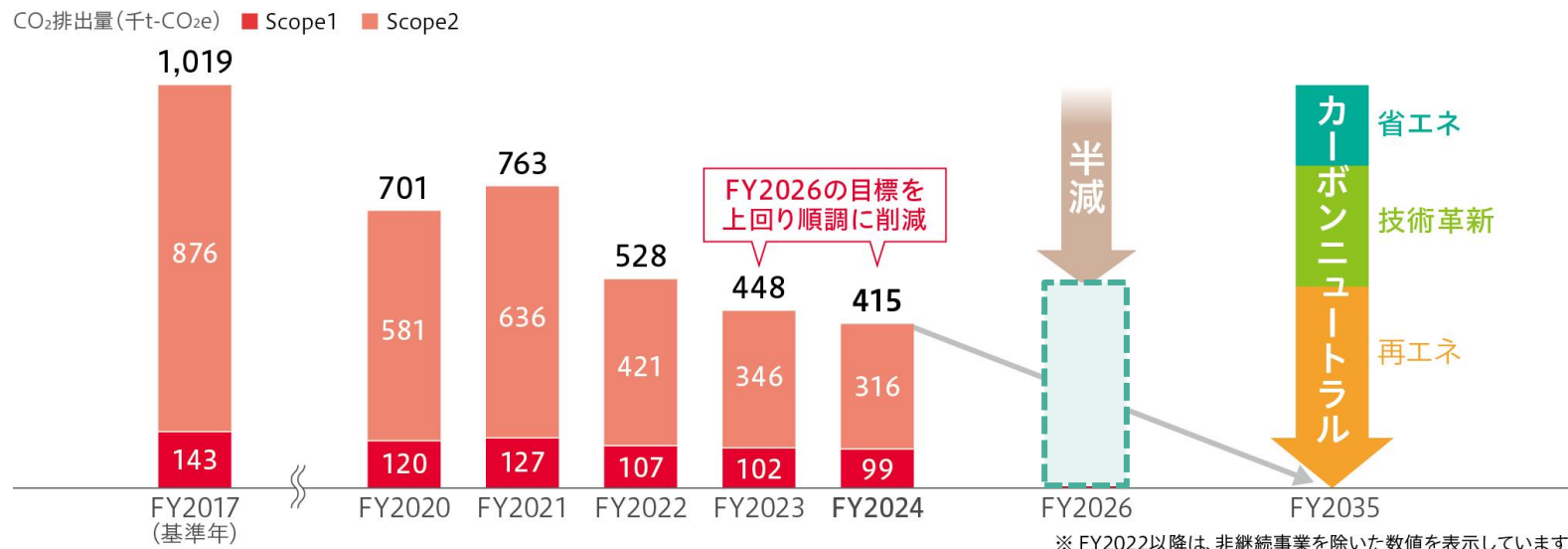
警備ロボットの動展示を予定

協業開発品、ユニット製品、要素部品展示によるNSK製品の広がりとBeyondを表現

補足資料

補足. カーボンニュートラルへの取り組み

✓ FY2035のScope1+2でのカーボンニュートラルに向け順調に推移



カーボンニュートラルの取り組みをさらに進化

業界初となる軸受の
CFP算定報告書を公開

CO₂削減の取り組みの
透明性と信頼性を向上

SBT認定取得に向け
コミットメントレターを提出

2年以内のSBT認定取得を目指す
SBTiのアプローチに基づくGHG
排出量の削減計画を策定する

省エネ・技術革新の
取り組み推進

サクラボックス(株)と大形軸受用の
梱包箱を共同開発



CFP (カーボンフットプリント) = 製品単位の温室効果ガスの排出量を示す指標

補足. FY25 1H実績 事業セグメント別業績

※ FY24およびFY25 8月までのステアリング事業の持分法による投資損益は自動車事業からステアリング事業へ組み替えて表示しています。

(億円)		FY24実績					FY25			YoY		FY25予想	
		1Q	2Q	1H	2H	通期	1Q	2Q	1H	増減額	伸び率	2H	通期
合計	売上高	2,005	1,971	3,976	3,990	7,967	1,958	2,165	4,123	+146	+3.7%	4,727	8,850
	営業利益	59	38	97	188	285	48	117	165	+68	+69.7%	135	300
	(営業利益率)	(2.9%)	(1.9%)	(2.4%)	(4.7%)	(3.6%)	(2.4%)	(5.4%)	(4.0%)			(2.9%)	(3.4%)
除くステアリング	売上高	2,005	1,971	3,976	3,990	7,967	1,958	2,013	3,971	-6	-0.1%	3,979	7,950
	営業利益	57	48	105	166	271	45	89	135	+30	+28.2%	130	265
	(営業利益率)	(2.8%)	(2.4%)	(2.6%)	(4.2%)	(3.4%)	(2.3%)	(4.4%)	(3.4%)			(3.3%)	(3.3%)
産業機械事業	売上高	905	900	1,805	1,810	3,615	892	916	1,808	+3	+0.2%	1,862	3,670
	産業機械軸受	776	767	1,543	1,531	3,073	759	774	1,533	-10	-0.7%	1,577	3,110
	精機製品	129	133	262	279	541	133	142	275	+13	+5.0%	285	560
	営業利益	27	28	55	84	139	16	33	49	-6	-11.2%	81	130
	(営業利益率)	(3.0%)	(3.1%)	(3.0%)	(4.7%)	(3.9%)	(1.8%)	(3.6%)	(2.7%)			(4.4%)	(3.5%)
自動車事業	売上高	1,005	987	1,991	2,025	4,017	989	1,024	2,012	+21	+1.0%	1,978	3,990
	営業利益	29	35	64	83	147	33	55	89	+25	+38.4%	66	155
	(営業利益率)	(2.9%)	(3.6%)	(3.2%)	(4.1%)	(3.7%)	(3.4%)	(5.4%)	(4.4%)			(3.4%)	(3.9%)
その他	売上高	186	150	336	294	630	151	131	282	-54	-16.1%	273	555
	営業利益	8	1	9	13	23	3	-1	3	-7	-71.4%	-3	0
	(営業利益率)	(4.5%)	(0.7%)	(2.8%)	(4.5%)	(3.6%)	(2.3%)	(-0.6%)	(1.0%)			(-0.9%)	(0.0%)
売上高消去		-91	-65	-156	-139	-295	-73	-58	-132	+24	-	-134	-265
その他の営業損益/調整額		-8	-16	-24	-15	-38	-7	2	-6	+18	-	-15	-20
ステアリング事業	売上高	-	-	-	-	-	-	152	152	+152	-	748	900
	営業利益	2	-10	-8	22	14	3	28	30	+38	-	5	35
	(営業利益率)	-	-	-	-	-	-	(18.2%)	(19.8%)			(0.6%)	(3.9%)

補足. 顧客地域別売上高

(億円)	FY24実績						FY25実績			YoY	
	1Q	2Q	1H	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	1H	増減額	増減率
売上高	2,005	1,971	3,976	1,993	1,997	7,967	1,958	2,165	4,123	+146	+3.7%
日本	641	658	1,299	663	651	2,613	625	689	1,313	+14	+1.1%
海外合計	1,364	1,313	2,677	1,330	1,347	5,354	1,333	1,476	2,809	+132	+4.9%
(海外比率)	(68.0%)	(66.6%)	(67.3%)	(66.8%)	(67.4%)	(67.2%)	(68.1%)	(68.2%)	(68.1%)		
米州	392	361	753	362	385	1,500	386	428	814	+61	+8.1%
欧州	271	238	509	230	261	1,000	238	275	513	+4	+0.8%
中国	420	432	851	464	412	1,726	432	477	910	+58	+6.9%
その他アジア	281	283	564	275	290	1,128	277	296	573	+9	+1.6%
換算レート											
1USD	155.9	149.4	152.6	152.4	152.6	152.6	144.6	147.5	146.0	-6.6	-4.3%
1EUR	167.9	164.0	165.9	162.6	160.5	163.7	163.8	172.3	168.1	+2.1	+1.3%
1CNY	21.5	20.8	21.2	21.2	21.0	21.1	20.0	20.6	20.3	-0.9	-4.0%

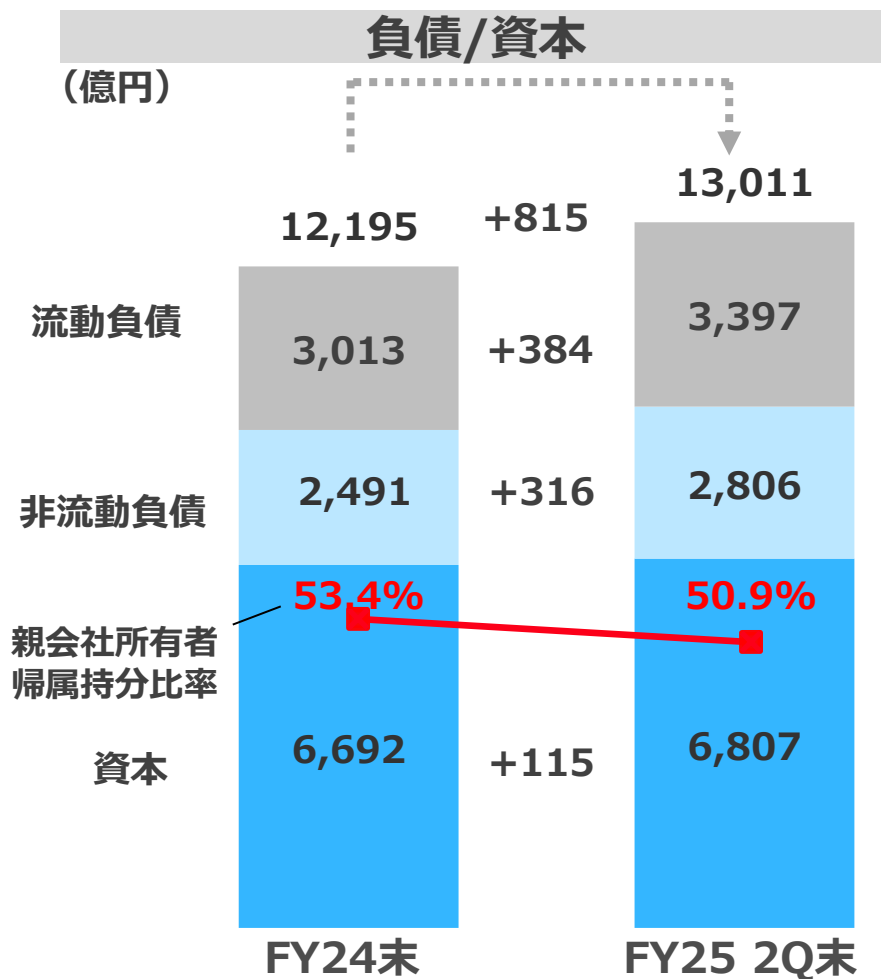
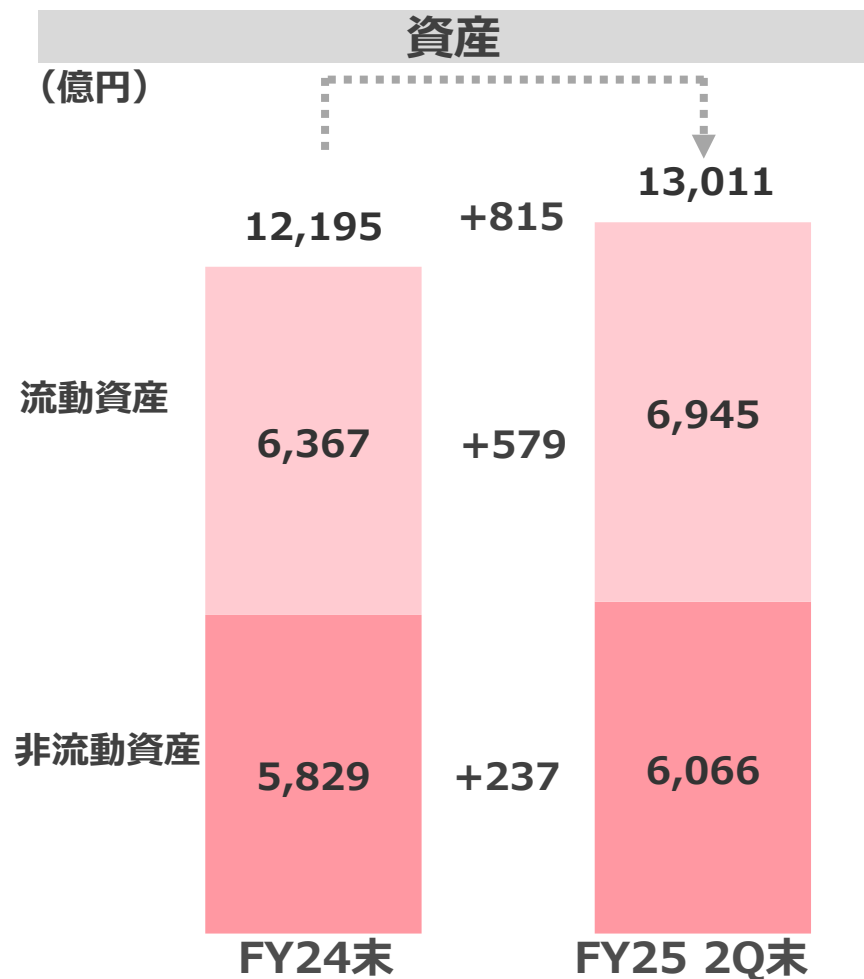
補足． 財政状態

MOTION & CONTROL™

NSK

2025年9月1日にステアリング事業を連結子会社化した影響もあり、
資産および負債/資本が前年度末残高から増加しています。

換算レート	FY24末	FY25 2Q末
1USD	149.5	148.9
1EUR	162.0	174.5
1CNY	20.6	20.9



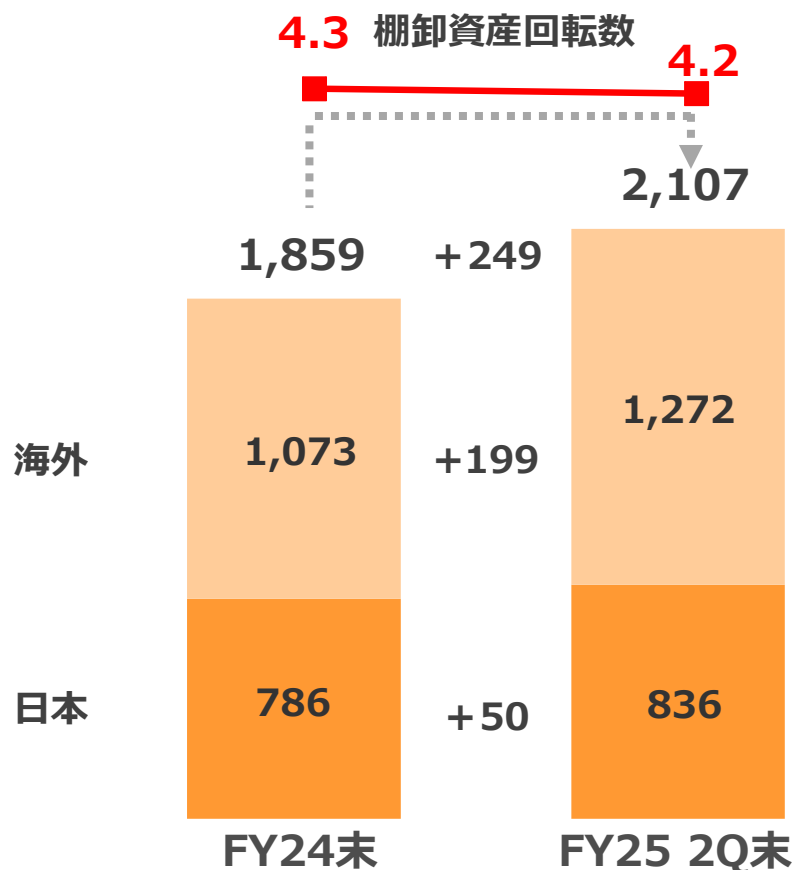
補足． 棚卸資産/有利子負債

2025年9月1日にステアリング事業を連結子会社化した影響もあり、
資産および棚卸資産および有利子負債が前年度末残高から増加しています。

換算レート	FY24末	FY25 2Q末
1USD	149.5	148.9
1EUR	162.0	174.5
1CNY	20.6	20.9

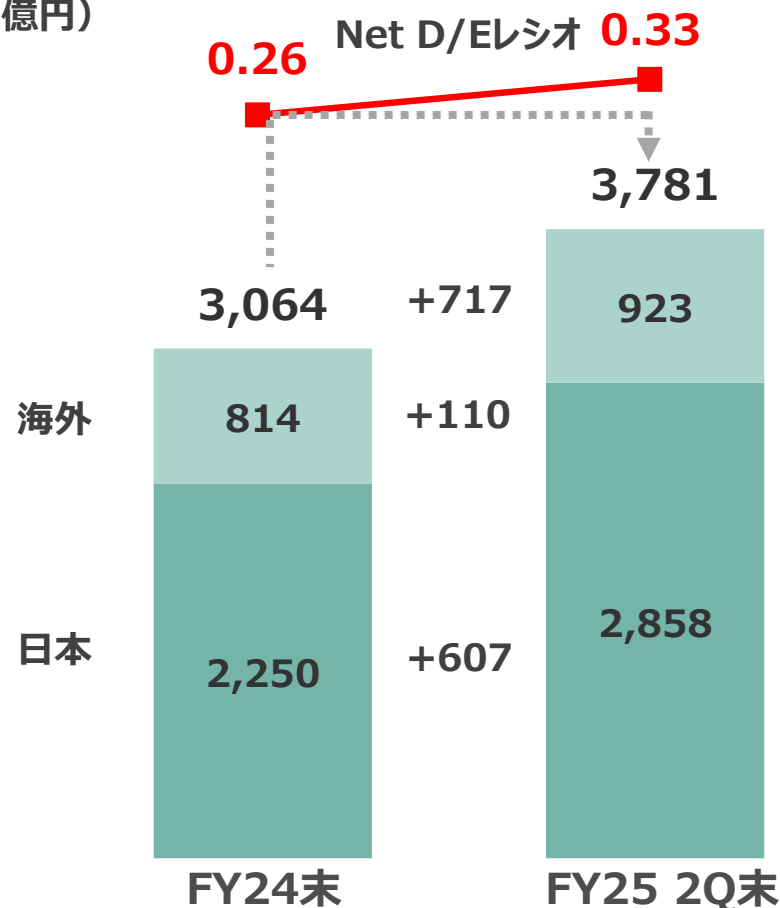
棚 卸 資 産

(億円)



有 利 子 負 債

(億円)



補足． 設備投資額/減価償却費/研究開発費

2025年9月1日にステアリング事業を連結子会社化したことにより、
設備投資額等の通期予想を見直しています。

(億円)	FY24	FY25			FY25
	通期実績	1Q実績	2Q実績	通期予想	当初予想
設備投資額	565	95	74	580	550
設備投資額 (リース除く)	510	90	70	550	520
減価償却費	524	127	134	540	500
減価償却費 (リース除く)	476	116	123	490	450
技術関連費用	275	70	81	350	290
研究開発費 (制度決算ベース)	163	36	43	180	170



NSKの企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™ を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる 明日 を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。